

広報

No.144

くらま

昭和60年6月15日

発行・編集 国見町企画課

ふるさとをきれいに.....	2
“新生活運動で深めよう心のつながり..”	3
君の未来 緑の地球.....	4
ふるさとの文化財.....	5
おしらせ.....	6~7
公民館だより.....	8~9
わだい.....	10

'85.

6月

“テッセン”

クレマチスとも呼ばれるつる植物。観賞用の栽培種より花が小さく、山野に初夏の訪れを感じさせる清らかな花です。(貝田地区で)

ふるさとをきれいに

大木戸小学校で 阿津賀志山を清掃

前日までの雨天とうって変わって、さわやかな五月晴れに恵まれた五月二十二日、大木戸小学校では、一年生から六年生までの全校児童百四十一名が、阿津賀志山ハイキングを兼ねたゴミ拾いを行いました。

午前十時過ぎに、ゴミ袋を持った児童たちは、大木戸小学校から阿津賀志山までの道路をい

めました。また、頂上にある展望台付近も、きれいに清掃しました。

集めたゴミは、四トントラック一台分もあり、あいかわらずの多さに、児童たちも残念がっていました。

大木戸小学校では、毎年このゴミ集めを行っています。いつもゴミの量は変わらないそうです。私たちのシンボルといえる

県北中で 町内清掃

県北中学校では、六月一日、'85県北中クリーンキャンペーン'と題し、全校生で町内主要道路や親月台公園などの清掃を行いました。

午前九時、全校生五百六十人が、徒歩や自転車を持ち場に行き一斉に清掃を開始。

四号国道や藤田駅、親月台公園などのゴミ拾い、カーブミラ

ーの清掃、除草を生徒たちは手際よく行いました。この日用意した二百枚のセメント袋を燃えるゴミ、燃えないゴミにふりわけ、集められたゴミは、用意した袋に入りきれないほど。生徒たちも改めてゴミの多さに驚いていました。

県北中では、秋にもクリーンキャンペーンを実施の予定です。

阿津賀志山。マナーを守り、持ち帰り運動を心がけましょう。



▲「あつ!こんな所にも」(山頂付近で)



▲ゴミの多さに生徒もビックリ



昨年のクリーンアップ作戦

普蔵川一・五〇畝
牛沢川二・五〇畝

昭和六十年
クリーンアップ
作戦のお知らせ

毎年七月一日から三十一日までの一か月間は、河川愛護月間です。

町では、町内を流れる普蔵川、滝川、牛沢川の三河川を重点に、今年も左記の通り、関係部落、河川愛護団体の協力を得て、一斉にクリーンアップ作戦が展開されます。地区のみなさんのご協力をお願いします。

○実施月日 七月七日(日)
○実施河川 滝川四・五〇畝
牛沢川二・五〇畝

“新生活運動で 深めよう心のつながり”

国見町新生活運動推進委員会

新生活運動は、昭和四十九年八月三十一日から、国見町総ぐるみ運動として提唱され、明るく住みよい町づくりをめざして、新生活運動の輪を広げてきました。

近年、物の豊かな時代となり生活は非常に潤い、向上してきましたが、その反面、「物」が先行し、「心」の豊かさを失いつつあるのではないのでしょうか。

この新生活運動は、町民みなさんの生活慣習の見直しを図り、お互いに助け合い、協力しあつて、心のかよう、よりよい地域社会をつくっていくものです。

今年も、次のことを申し合わせ、みんなで実践し、明るく住みよい町づくりをめざしていきましよう。

重点申し合わせ事項

◇結婚披露宴への見直し運動

一結婚披露宴は簡素にし、会費制披露宴を取り入れましよう。

・部落つきあいでの祝い金は一万円以内としましよう。

二ムダ、ムリ、ミエを捨てて、「心を贈る」ことにしましよう。

三招待者は新郎・新婦を中心とした小範囲にとどめましよう。

四門出を祝し、心のかよいあうプログラムを考え、華美な演出は自粛しましよう。

五引出物は自粛しましよう。

◇会葬への見直し運動

一香典返しを取りやめ、ハガキで礼状を出しましよう。

・部落つきあいでの香典は、千円以内にとどめましよう。

二法要(法事)などは近親者にとどめるようにし、接待はできるだけ簡素にしましよう。

・部落つきあいでの御茶湯の額は、三千円以内としましよう。

・三日七日の法要については次のようにしましよう。

ア香典はさしあげない。

イ引き物はしない。

◇御見舞などのお返しはハガキで行いましよう。

・部落つきあいでの御見舞などの額は千円以内にしましよう。

◇成人式の晴れ着は自粛しましよう。

◇何よりも心のつながりを大切にしましよう(あいさつ運動)

◇会合の時間を厳守しましよう。

◇住みよい環境をつくるため、川や道路、広場をきれいにしましよう。

◇すべての資源を大切にしましよう。

◇祝日には、国旗をかかげましよう。

◇買物は、町内の商店を利用しましよう。

団長に樋口さん再任

副団長に林さん再任



樋口さん



林さん

町消防団長の任期満了に伴い、団長に樋口弥太郎さんが再任され、五月五日付で町長から任命されました。

また、副団長には林元治さんが団長から任命を受けました。

樋口さんは、昭和十年十一月一日、藤田町消防組消防手を拝命、四十四年から町消防団長を勤め、五期目を迎えます。

林さんは、昭和二十二年十月一日入団、五十二年から副団長を勤め、現在三期目。

共に、火の守りにかけては、大のベテランです。常に消防人としての自覚を持ち、防火、防災に尽力しています。

佐藤さん、朽木さん 表彰される

表彰される



▲表彰状を手にした佐藤さん(左)と朽木さん

昭和六十年年度福島県交通指導員連絡協議会総会が、五月三十日、福島市飯坂町で開催され、県下交通指導員約二百名が参加しました。

席上、国見町交通指導員の佐藤正康さん(錦町)朽木好秋さん(宮町北)が、永年勤続会員として、会長から表彰されました。

佐藤さん、朽木さんは、共に昭和五十一年四月一日、町交通指導員に任命されて以来、九年余にわたり、街頭指導、交通整理、更には交通安全思想の普及などに努め、現在も活躍されています。



'85国際森林年



これは、一年間に地球上から失われていく森林の面積です。といってもピンとこないかもしれませんが、ほぼ二年で日本の森林がすべてなくなる量、と考えればよいでしょう。日本は森林に恵まれた国ですが、人口が多いので国内産の木材だけでは需要を賄いきれませんが、このため、世界各国から年間約一兆九百億円もの木材を輸入しています。丸太に限って言えば、世界の全輸出量の約四割を買っているのが現状です。日本は一千万ヘクタールの人工林を有する林業の先進国であると同時に、世界の主要木材輸入国。わたしたちは、世界の森林の減少に、とても無関心ではいけないのです。

君の未来 緑の地球

森を消す
焼畑移動耕作

森林の減少の激しい地域は、熱帯アジア、熱帯アメリカ、熱帯アフリカなどの途上国。アメリカ政府が発表した資料によると、今後、森林の減少は一層進み、一九七八年に世界の陸地面積の五分の一を占めていた森林は、二〇〇〇年には六分の一にまで減ってしまう」と警鐘を鳴らしています。

海外の森林事情

失われていく世界の森

が失われていく主な原因は何でしょうか。残念なこと自然現象によるものはわずかで、大部分は森林に火を放ち、その跡地で農業を営む焼畑移動耕作などの農地への転用によるものです。遠い外国の話だから……などといわず、わたしたちは地球の未来のために、世界の森林事情に常に敏感でいたいものです。

海外の森林事情に
目を向けよう

熱帯アフリカ

一番問題になっているのが砂漠化です。木の少ない半乾燥地帯では、マキにするため木の根っこまで使われてしまっています。木を失った土地は、後は砂漠と化してしまいます。

熱帯アジア

森林の減少は、焼畑移動耕作が主な原因。人口の増加に伴って、焼畑移動耕作がますます盛んになっていきます。

何度も焼かれた土地は、アラニアランと呼ばれる草がおい茂り、再び森林に戻ることはありません。

熱帯アメリカ

森林が失われていく主な原因は、焼畑移動耕作と過剰な放牧です。このほか、農地に転換するために森林が削られています。

先進諸国

大気汚染による酸性雨の影響で、森林が枯れたり、発育が止まったりします。被害の出ている地域は、北アメリカとヨーロッパです。

身近にある野草・薬草

⑫

カラスビシャク

わが国全土で、畑の雑草として見かける多年草。

地下深く、径一四ぐらゐの球茎があって、この先端から、地上に長い柄のある葉を出します。同じ球茎から、初夏に葉よりも長い花茎を伸ばし、その先に緑の長さ六〜七cmの筒状の苞を出し、その中に、上は雄花、下は雌花が花軸に密生します。その花軸の先が、緑の筒状の苞から外部に長く突き出しています。

尾瀬のミズバショウはカラスビシャクと属は違いますが同じ仲間、大きい白色の苞が見せどころになっていますが、カラスビシャクの苞も、あれと同じ性質のもので、この苞の形から、カラスビシャクの名が生まれた。

別名のヘソクリは、孫の子守をしながら畑の雑草のカラスビ



シャクの球茎を掘り、小づかいせぎをすることがあったのでつけられた名。またヒヤクシウナカセ、鹿兒島、カラスノオキユウ(群馬)は、畑に繁殖すると除草が容易でない悩みを表現したものです。

▼薬用▲

夏、花のある時期に球茎を掘りとり、細長い根を除いて、水と砂を入れて容器に入れてかきまぜながら、外皮を除きます。これを水洗い後、日干しに。

つわりに、単味では使用しないこと。小半夏加茯苓湯(半夏九g、茯苓・生薑各三g、上一日量)を水二百ccで煎じ、何回かに分けて服用します。この漢方処方市販品もあります。生薑は料理用のヒネシヨウガでもいいです。

(山野草カラー百科から)

ふるさとの文化財

⑮

町指定史跡 森山第四号墳

菊池利雄

本郷と呼ばれた森山の糸里水田遺構が、最近まで存在していた洪積台地を見おろす、森山丘陵（上野原）の南斜面には、円墳四基からなる森山古墳群がある。

この古墳群については、明治の初めに書かれた「森山村誌」に「古塚、上野原師二数個所有り、文治ノ軍二奥州勢敗軍ノ屍ヲ埋ルノ塚ナリ……」とあるが、古墳時代後期の円墳群で、村誌で述べられた時代よりもさらに五百年ほど古い、七世紀の後半頃に構築されたものである。

（信達）
（郡村誌）

この内の四号墳が、昭和四十六年八月、国見町史編さん資料収集のため発掘調査が行われて、内部の構造などが明らかにされ

た。それによると、墳丘の規模としては直径が十八メートル、高さが三・二五メートル、中央部には、自然石を種重ねた奥壁部が丸味をもつ胴張り形の横穴式石室（発行二七三）が施設されており、玄門部には国見石の切石が使われ、石室内からは銀環二個、直刀二振、琥珀玉などの副葬品が出土しており、第一号墳の封土からは土師器片や鉄刀一点が採集されている。遺物は町教育委員会の委員会保存。また、この古墳群の北部に位置する現東北中学校付近にも、かつて古墳群が存在していたとの伝えがある。

福島県の中通り地方では、最古の規模をもつといわれる古墳時代中期の、塚野信夫国造の系譜をひくとられる、この有力豪族の墳墓とされるのに対して、森山古墳群など小規模化した円墳群は、六世紀から七世紀にかけて構築をみた、古墳時代後期のもので、

地方の官吏や有力農民の家族的な性格をもつものとされ、森山のはか



参考文献 国見町史一・二・四巻
国見町文化財調査報告書第三集
森山古墳発掘調査

に塚野目、大木戸、石母田における円墳群の存在は、この時期東北地方の南部に位置した国見の地域でも、農民の階層分化が進んで、円墳の被葬者となりうるような、有力農民層の出現を物語るものであろう。

昭和四十九年、町教育委員会で、この古墳の上部に覆屋を設置して、保存と石室など古墳の内部構造の見学に便宜を図っており、昭和六十年三月には森山古墳第四号墳を町の史跡に指定した。

県政モニターに 徳江さん



継続的に聴取し、行政の参考に資するために設けられたもので、任期は一年間です。前任の山田恭子さんから六月一日でバトンタッチされました。
テニスで汗を流すのが趣味というスポーツマンの徳江さん。向こう一年間、県の仕事への意見、要望などを提出したり、アンケートに答え、県民代表の一人として活躍されることになり

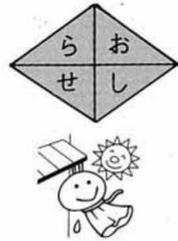
民の意見、要望などを組織的、

福島県中世城館跡 調査員に菊池さん



歴史的状况などについて調査するため、伊達郡担当の調査員に菊池利雄さん（石母田西）が委嘱されました。
近年、開発行為により、影響が懸念される中世城館跡について、その現状を把握するため、

県教育委員会では、中世の城館、屋敷、砦、烽火台、物見台などの城館遺跡について、位置、規模、遺構の残存状態、周辺のに伺いましたらご協力ください。



役場藤田駅前
事務連絡所の
廃止について



昭和五十一年五月から、戸籍
謄抄本、住民票などの交付申請
を図るため、藤田駅前事務連絡
所(奥山嘉助さん宅)を開設し、
住民のサービス向上に勤めてき
ましたが、最近、利用者がほと
んどないことと、奥山さんの都
合により、今年五月二十三日の
をもって廃止することになりまし
たのでお知らせいたします。

ふくしま・産業おし運動
シンボルマーク

および標語を募集



福島県では、地域の特性を生
かしたふるさと産業(産品)の

開発、育成、市場の拡大などを
通じ、本県地域経済の活性化を
図るため、二十一世紀へ向けて
の長期的な県民運動として「ふ
くしま・ふるさと産業おし運
動」を推進しています。

そのため、県民の創意工夫に
よるシンボルマークおよび標語
を定め、本運動の推進に活用す
るものです。

応募要領は次のとおりですの
で、みなさん、どしどし応募
ください。

(一)応募資格

どなたでも応募できます。

(二)募集作品

福島県のイメージアップを図
るため、福島県およびふるさ
と産品の良さが県内外に広ま
るようなイメージを、単純明
快に象徴・表現したものを。

(三)募集期間

昭和六十一年六月二十九日まで

郵送。(当日消印有効)

(四)応募および問い合わせ先

〒六〇〇 福島市杉妻町二一六
福島県企画調整部地域振興課
☎二一〇一一(内線五五〇)

(五)規格など

○シンボルマーク

B五版(縦二五・七cm、横
一八・二cm)の用紙に縦横十
五cmの正方形を書き、その中
にシンボルマークを作画し、

四色以内(白色は色に数え
ない)で着色し、余白に図案
色などの説明をできるだけ詳
しく書いてください。

○標語

官製葉書に当用漢字と現代か
なづかいを用いて十五字以内
で書き、葉書一枚につき一作
品とします。

第五回

福島県川柳賞の
作品募集



一、部門

○一般の部……五十句以上の作
品を取録した単行本または原
稿作品

○青少年の部……二十句以上の作
品を取録した単行本または原
稿作品

二、応募資格

○県内在住者。ただし、生徒お
よび学生については、県外勉
学中の県人も含む。

三、応募方法

○応募作品は、必ず五部(コピー
一も可)提出する。

○単行本の場合は、一部ごと別
紙に応募部門、作品表題、氏
名、生年月日、住所、職業な
ど記入し、提出すること。

○原稿作品の場合は、四百字詰
め縦書き原稿用紙を用い、文
字は楷書で正確に書くこと。
一部ごとに表紙をつけ、第一
ページ目に応募部門、作品表
題、氏名、生年月日、住所、
職業など記入し提出すること。

四、送付先

福島民報社編集局文化家庭部
「県川柳賞係」〒九六〇 福島
市太田町一三番一七号

五、締め切り

昭和六十一年七月三十一日(水)

※なお、詳しくは、

☎三二一四一四一 福島民報社
編集局文化部「県川柳賞係」ま
でおたずねください。

所得税の記帳制度などの
説明会のお知らせ



昭和五十九年度の所得税法改
正により、記帳制度など新しい
制度が設けられました。

記帳制度(記帳をしなければ
ならない人)とは

事業所得、不動産所得または
山林所得を生ずべき業務を行っ
ている人(青色申告をしている
人を除きます)で、次のいずれ
かに該当する人は、その業務に

ついての取り引きのうち、総収
入金額および必要経費に関し、
簡易な記帳を行うとともに、そ
の帳簿を七年間(その他その業
務に関して作成し、または受領
した帳簿および書類については
五年間)保存することをいいま
す。

(一)五十九年十二月三十一日現
在で昭和五十八年分の確定
申告書など(確定申告書、
修正申告書、更正および決
定をいいます)による事業
所得、不動産所得および山
林所得の合計額が三百万円
を超える人

記帳を始める時期 六十年
一月一日

(二)六十年三月三十一日現在で
昭和五十九年分の確定申告
などによる事業所得、不動
産所得および山林所得の金
額の合計額が三百万円を超
える人

記帳を始める時期 六十年
四月一日

福島税務署では、記帳制度な
どのしくみおよび記帳の方法な
どの説明会を次のとおり開催
いたします。

ぜひご出席ください。

一、日 時 昭和六十一年六月二十
六日(水)午後一時半

二、場 所 桑折町福祉センター



乳幼児・成人・婦人学級

国見町公民館
☎85-2676
(有)4156

が開講

◆乳幼児学級

○歳児から三歳児を持つ母親を対象とした乳幼児学級が、五月二十二日午後一時半から開講



▲なごやいだ中での開講式(%)

しました。

開講式は公民館長のあいさつ
のあと、担当者から開設要項、
学習計画の説明がありました。

式終了後学習に入りビデオフ
ォーラムによる「親と子のふれ
あい」の話し合いが行われまし
た。

なお、この学級では、お母さん
方がゆとり勉強出来るよう学
習時間中は、ボランティアの十
三名の方が保育してください、
学級生、関係機関から大変感謝
されております。本年度の学級
生二十五名が十二月まで月一回
学習して行きます。

第一回目の学習会は六月五日
「絵本とおはなし」の講義によ
り行われました。

◆成人学級

去る五月三十一日(金)町公

民館で学級生二十二名(欠席九
名)が出席して開講式が行われ
ました。

開講式終了後学習として、和
算研究者、法井八夫先生から、
「生活と数とのかわりあい」
のテーマで講義が行われました。
なお役員は次の通り決まりました。

委員長 阿部文夫

副委員長 野村チヨノ

会計 早田 精

六月の学習予定

六月十八日(火)

研修旅行(米沢、長井方面)

六月二十六日

「経済と生活」という課題で
学習します。



▲熱心に講義を聴く学級生のみなさん

国見の民話 ②

豊治の話



—生き返った人—

西大枝 松浦真さん談

豊治(とよず)が、はたたく

らいの頃、生梅一升食って 腹

痛くして 死にそうになった。

豊治は、砂糖が好きだったが

ら、口に砂糖をおっほめてやり

ながら、みんなして

「とよずー」

と大声で呼んだ。そしたら、

死にそうだった豊治が、ぼかーつ

と目を開けた。そして言った。

「いやあ おらあ 南部の恐山

まで行って来た。

山があつて前が沼になつてい

る。山には ぼつんと穴があい

てで、上の方に光が見える。は

い上ろうとしても上れない。

船に乗って、白い着物を着た

人や、軍服を着た人が、ボカア

ボカア と消えてしまふ。

「おまえ来んの、まだ早いぞ」

と言われ帰つて来た。越河の

山越えて、伊達の方見えたお

ら家も見えた。そこで、ハツと

目さめた

つて。

みなして

「とよずー とよずー」

と大声で呼んだのが、良かつ

たんだな。

豊治は、その後 八十近くま

で生きてた。

お知らせ

テニスコート、勤労者体育センターは、六月十三日(木)

から七月十八日(木)までの間、町民プールなどの建設工事

のため、使用中となります。

大変ご迷惑をおかけしますが、町民の皆さんのご協力をお

願いたします。

国見町教育委員会



▲さすの館前で(料理教室)

◆中央婦人学級

五月十五日町公民館で、町内に居住する婦人を対象とした中央婦人学級の開講式が行われました。

式終了後、フィルムフォーラムによる「よりよく生きるため」の話し合いを行いました。

続いて役員選出を行い、次の方たちに決まりました。

- 委員長 佐藤 京子
- 副委員長 武田 涼子
- 会計 八島さえ子

今月の学習は六月十九日と七月十日に和紙人形教室を予定しております。

救急法講習会のお知らせ

1. 日時 7月2日(水) 午後1時30分
1. 場所 国見町体育館
1. 内容 急病やケガ及び溺れた人に対する救急法
1. 講師 日本赤十字社福島県支部指導員

体育協会総会 開催される

昭和六十年年度の総会が去る四月二十六日開催され事業計画などの審議がされました。

また、任期満了により役員改選が行われ次の通り決まりました。

- 会長 佐藤元一
- 副会長 斎藤太助
- 新にゲートボール協会の体協加盟が承認となりました。

町民学校 生徒募集

公民館では、昭和六十年定期町民学校を左記のとおり開設いたしますので町民の皆さん、是非参加してください。

◆和紙人形

(第一・第四土曜日)

- 内容 手づくりによる和紙人形づくり
- 講師 直木流家元
- 定員 直木その先生 三十名
- 時間 午後一時三十分から 午後三時三十分
- 回数六回(各回約90分)

◆料理教室

(月一回第一土曜日)

- 内容 四季折々の料理
- 講師 樋口クッキングアカデミー
- 定員 樋口和歌子先生 三十名
- 時間 午後一時三十分から 午後四時

奇贈

宮町北の菅野シマさんから、今回も季節の花(ケシ、フリージア)をあしらったすてきなリボンフラワーをお寄せいただき公民館を訪れる人の目を楽しませてくれました。

ありがとうございました。

○回数 九回(各回約90分)

※受講料 入講料五〇〇円(申込時に納入)

※対象 町内在住及び町内に勤務している一般者

※申込期限 六月十七日

※問い合わせ 町公民館まで

町民学校 硬式テニス教室 中止のお知らせ

先にかいらんで募集しました町民学校のうち、硬式テニス教室は、テニスコート使用中のため、今回は中止いたします。

公民館運営 審議委員決まる

昭和六十年三月三十一日で任期切れとなり、次の方々が教育委員会より委嘱されました。

今後二年間公民館と町民を結びパイプ役としての活躍が期待されます。

五月二十八日本年度第一回運営審議委員会が開催され役員の選任及び事業計画などについて、審議されました。

委員長 佐藤元一(体協会長)

副委員長 奥山愛子(文連理事)

大和金三郎(森江野小学校長)

佐久間宗平(大木戸小学校長)

太田友也(大枝小学校長)

津武志(町連P会長) 樋口典雄(サークルばけつと会員)

舟山武雄(柔道クラブ会長)

佐野一子(母子の公民館活動指導員) 後藤昌伸(農業委員)

佐藤和子(婦人学級代表) 野村子ヨノ(連婦会長) 阿部ノブ(大木戸婦人会長) 佐藤公子(文庫活動者) 羽根俊一(体育指導委員) 佐藤玲子(婦人学級代表) 渋谷つぎ子(母子の公民館活動指導員)

遠藤金六(町議会議員) 八島博正(町議会議員) 阿部寄生(前社会教育指導員)



町民プールの

起工式が行われる

待望の町民プールの起工式が六月三日午前十一時から「国見町運動公園」の建設現場で行われました。

式には、菊地政治町長はじめ町関係者、議員、工事請け負い



▲敷地に於て行われた起工式

業者ら約六十人が出席し、工事の安全を祈りました。

町民プールの二、一般用二十五坪と乳児用の二つで、夜間照明設備も付けられることになり総工費は八千五百八十万円。二十五坪プールは幅十七坪で八コーズ、水深は一・一坪から一・四坪で、乳幼児プールはT字型で広さは百二十五平方坪。このほか付帯設備として鉄筋平屋建て百九十平方坪の管理棟が建設され、シャワー、更衣室、トイレなどが備えられます。夜間照明は四基で、盛夏にはナイター水泳が出来ることになりました。

七月二十一日のオープンを目指し、現在、急ピッチで工事が進められています。



▲工事の無事を祈りクワ入れる菊地町長



▲「これは、こう植えるんだよ」



▲「こんなに集まりました」(6年生のみなさん)

晴天に恵まれた五月十九日、宮町北子供会で、恒例となったさつまいもの苗植えが行われました。この行事は今年で四回目を迎え、当日は、宮前団地の一角にある約八十坪の借地に、子供八

さつまいもの

苗植え

宮町北子供会

十名、父兄三十名が八時三十分たテニスコートにも、千八百八十二万円の予算で夜間照明六基が取り付けられます。プールのオープンと同時に利用開始となります。ぜひ、ご利用ください。

なお、今春四月にオープンしたテニスコートにも、千八百八十二万円の予算で夜間照明六基が取り付けられます。プールのオープンと同時に利用開始となります。ぜひ、ご利用ください。

〇七日に梅雨入りし、うつつ〇梅雨空が続いていますが、肌寒く、体に変調をきたしがちですが、十分注意し、カゼなどひかないようにしたいものです。〇今月号で、大木戸小学校と県北中学校のクリーンキャンペーンを載せましたが、今回も、あきカンやゴミなどが大目につきました。特に、信号機のある道路ぞいには、たばこの吸いがらやあきカンが多く、一部の心ないドライバーのために、環境が汚損されています。もちろん、町民の方ではないと思いますが、私たちも、町内だけでなく、町外に出かけても、マナーを守り絶対ポイ捨てなどをせず、持ち帰るようにしましょう。

編集日記

〇現在、町民プールの工事が急ピッチで進められています。六月十三日から七月十八日まで、体育センター、テニスコートとも使用が中止となります。工事用車輛などで危険が伴うための措置で、利用者の皆さんには迷惑をおかけしますが、町民プールのオープンと合わせ、テニスコートにもナイター照明がつけます。勤めの方も、ぜひ、夕涼みがてら、水泳やテニスを楽しんだらいかでしょうか。S